

講義名称	保育内容 環境	担当教員名	八幡 眞由美
科目群	専門科目 (M)		
科目区分等	保育の内容・方法 (PM) 選択必修	単 位	2
対象学年次	1年・春学期	ナンバリング	CMPM1121

授業のキーワード	保育内容 領域 環境
授業の概要	1 領域「環境」について、ねらいや内容等を理解するとともに、幼児期にふさわしい環境構成をするために必要な知識・理論を学びます。 2 製作や遊び等、直接体験の重要性を理解し、実践する力を養います。
期待される学習成果 (目標)	1 領域「環境」の意義・ねらい・内容を理解し、子どもの発達等に合わせた環境構成について学ぶことができます。 2 あそびや活動等の直接体験を通じた学びの必要性を理解し、実践することができます。

授業展開

回	テーマ	内 容
1	領域「環境」 (1)	ねらい・内容、歴史的変遷と教育的意義について説明します。
2	領域「環境」 (2)	他領域や幼児期の終わりまでに育てて欲しい姿との関連、小学校との接続について学びます。
3	子どもを取り巻く環境と幼児の発達	子どもを取り巻く環境、子どもの発達と環境構成について学びます。
4	園生活における自然とのかかわり	自然とのかかわりの意義、生命尊重の意義、計画・実践方法について学びます。
5	事例検討 (1)	園生活における自然とのかかわりについて事例をもとに考えます。
6	自然物や身近な素材を用いた製作 (1)	自然物を用いた製作を行います。
7	自然物や身近な素材を用いた製作 (2)	身近な素材を用いた製作を行います。
8	事例検討 (2)	園行事の実際について事例をもとに考えます。
9	事例検討 (3)	最新の保育事情と環境について事例をもとに学びます。
10	模擬保育の実践 (1)	指導案について学びます。
11	模擬保育の実践 (2)	模擬保育実施後、振り返りを行います。
12	数量・図形、標識・文字等への関心	数量・図形、標識・文字等への関心について指導上の留意点や小学校との接続等を学びます。
13	事例検討 (4)	数量・図形、標識・文字等への関心や感覚を養う園の環境構成について学びます。
14	模擬保育の実践 (3)	指導案を作成します。
15	模擬保育の実践 (4)	模擬保育を実施後、振り返りを行います。

定期試験	レポート
授業時間外学習	予習2時間 復習2時間
評価方法	授業貢献度50%、提出物・定期試験 (レポート) 50%
使用する教科書 (必ず購入してください)	大沢裕・野末晃秀『【コンパクト版 保育内容シリーズ】 環境』一藝社 幼稚園教育要領解説 保育所保育指針解説書
参考文献	小学校学習指導要領 その他、授業内で適宜紹介する